

# 第18回議会報告会

4月13日と14日に議会報告会を開催し、各会場でいただいた質問や意見、要望事項を検討し、回答書を作成しました。主な質問と回答は次のとおりです。

各会場での質問、意見の詳しい内容は右記二次元コードからご覧いただけます。



**質問** 議会運営するためには10人はいないといけないと考える。人口が減っているから5～6人になったら、会議も長くなってしまう（負担も増える）。優秀な方から議員になってもらうためには報酬を上げるだけではだめだと思うがその辺どう考えていますか。

**回答** 幅広い多様性のある議会にしていきたい。若い方、女性の方の議員を増やしていきたいと考えています。定数については、2名減としている町村もありますが、10名いないと議論に活発な意見が出にくく、また委員会の構成上も良くなく、いろんな意見が出にくくなるのが懸念されます。多様性のある議会にするためには報酬を少しでも上げざるを得ないかと考えました。なり手不足の解消が特別委員会の目的で、なり手不足の一助として報酬を見直していく必要があると考え、報酬額を2万円を上げるという結論にいたり、町に提言書を提出いたしました。（選挙が無投票は町にとって良くないことと考えています。）

**質問** 29年前というと、町職員と議員の給料が同額だった。職員は上がってきたが、議員が上がっていないのが不思議な感じがしている。議員定数10名は人口約500人に一人であり、妥当と考える。

**回答** なり手不足だから定数を削減するという考えは、議会としては考えませんでした。理由は、定数を減らすと議員一人に係る負担が増えることにつながると考えたためです。人口に見合った定数だという意見もありましたが、委員会の構成等を考慮すると10名が最低限必要な数と結論を出しました。  
人口は減っていますが、予算の規模が大きくなっています。議会の役割として、行政を監視する議会。その議会のチェック機能が低下することは、町民にとっては良くないことにつながります。



農村環境改善センター（富長地区）

**質問** 陸羽東線の状況について、教えてほしい。

**回答** 復旧する計画があり、工事は進められているようですが、工期などの情報については公表されておられません。  
また、臨時バスの乗車率が悪いため、時間帯によっては長沢を通らず亀割バイパスを通る便に変更を行ったと聞いております。



農村環境改善センター（堀内地区）

**質問** 空き家対策事業に小屋解体が対象と、補助金額が200万円上限となったとあるが、もう少し詳しく教えてほしい。

**回答** 補助率50%から80%（上限200万円）となったものです。

**質問** 本町においては、スクールバスが冬期間だけ利用できる。昨年、クマの出没があった際に、夏場もスクールバスでの登校をしていただけるように教育委員会に掛け合い、そのように対応をしていただきました。ただ、停留所がなく、中央公民館まで徒歩でいかなければならない。常時利用と町内会にスクールバスの停留所を設置してもらいたい。

**回答** 町の方に伝えていきます。（担当課コメント）  
スクールバスの停留所設置につきましては、児童生徒の安全な待機場所とバスの安全な運行確保、さらには既存の停留所との距離などを総合的に判断して配置しております。この点を踏まえ、他地区との整合性を鑑みると、これ以上の新たな停留所の増設は想定していない状況でありますので、ご理解願います。

**質問** 鳥獣被害対策の予算が少なすぎるのではないかと。緊急銃猟をしないで対応するためにはもっと予算が必要と考える。

**回答** 追い払い花火の対応等、職員にかなりの負担がかかっており、通常業務にも影響が出ているのが現状です。また、ハンターはボランティアであり、責任を負わせることもおかしいと考えています。やっと少しずつ待遇が良くなってきたところです。報告会でのこの意見があったことを町にきちんと伝えます。組織の立ち上げも必要ではないかと考えています。

**質問** 議員報酬については、金額の問題ではなく、資料みてもわかる通り議員活動は大変だと思うが、町民のために引き続きがんばってもらいたい。

**回答** 力強い激励ありがとうございます。  
ちなみに最上管内の報酬額は…。  
真室川町と最上町は35,000円増額している。20,000円増額すれば、来年の選挙に手を挙げてくれる人も出てくるのかと考えています。女性議員については、舟形町と戸沢村にだけいない状況で、ぜひ女性からの立候補があればいいなと考えています。



生涯学習センター（長沢地区）

**質問** 小学生や中学生、高校生の時の（主権者）教育が重要と考える。

**回答** 役場には小学生や中学生が見学に来ないので、そのような機会があったらよいのではと考えていました。最近では12月議会を中学3年生が傍聴してくれるようになっていきます。今後も続けていきます。また、議会だよりの一般質問の記事の題字「町政を問う」に、中学生から書道で書いてもらった題字を採用し、顔写真とコメントを付して紹介する取組みを始めています。これも中学生のうちから議会だよりを通じて興味を持ってもらうための取組みの一つとして実施しています。

**質問** 堀内橋の通行について、県と町で制限の規制が違う。うやむやになっている。（除雪車）

**回答** 町に確認します。（担当課コメント）  
県道ですので県の規制のとおりです。  
緊急車両や除雪車（町）は特別に通行させていただいております。ご理解願います。

**質問** 本堀内へ行く県道のこと。4～50年前からそこは崩れることが多々あった。長年このような状態の場所をよく県道として活用しているものだ、工事現場の方も話していた。今後の計画はどうなっているのか。全面通行止めはしないでほしい。福寿野経由で迂回した場合、農作業だけでひと月10,000円くらいかった。

**回答** 地域の声を県から直接聴いてもらった方が効果があると思うので、そのような場を設けてもらえるよう要望していきます。

**質問** 東北農林専門職大学の学生を送迎しているが、そのバスの空いているときに活用できないか。

**回答** ここで、できるできないの回答はできません。（担当課コメント）  
学生送迎用バスについては、平日、朝夕晩と3回運行しておりますが、土日など学生の送迎がない場合は使用が可能です。使用をご希望の場合は事前にご相談ください。また、マイクロバスを活用して堀内地区地域運営組織で、R7.6～新庄市内へ買い物バスツアーを実施しており、3月まで5回実施してきました。利用している方も固定化してきている状況です。

**質問** 鳥獣対策、山に行くのが怖く、心配なのでがんばってもらいたい。

**回答** 町の方でもいろいろな対策を講じてはいますが即効性がないというのが現実があります。被害防止のために、皆さんからの情報提供をお願いします。



2班に分かれての議会報告会